

教師用 指導案

1. テーマ・授業名

テーマ1 パラリンピックの価値

授業3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（村岡桃佳選手編）

パラリンピックの価値については、1-2、1-3のうち1つと1-4を合わせて2つの授業で完結する。1-2、1-3については、ともに「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について学習するため、学校の状況に合わせて1つを選択する。

1-2 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（香西宏昭選手編）

1-3 「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について考えてみよう！（村岡桃佳選手編）

1-4 「公平」について考えてみよう！

2. 授業の目標

- ・パラリンピックを象徴する価値（「勇気」「強い意志」「公平」「インスピレーション」）のうち、「勇気」「強い意志」「インスピレーション」について理解する。
- ・村岡選手のパラリンピアンとしての活躍やそこに至るまでの日々のようすを通して、「インスピレーション」を得るとともに「勇気」「強い意志」について理解し、「自分にとって〈勇気〉や〈強い意志〉を持って成し遂げたい目標」を確認する。さらに、目標を達成するために何をすべきかをイメージできるようにする。

3. 本時の位置づけ

- ・総合的な学習の時間での活用。
- ・中学校では、社会（公民）の「基本的人権」、道徳の「他者の理解」「共生社会」などの単元における事例学習として活用。
- ・高等学校では現代社会、政治・経済での「基本的人権」「社会保障」などの単元における事例学習として活用。
- ・保健体育のカリキュラムに盛りこむことも可能だが、その際、評価の観点を新たに設ける必要がある。
※その他、学級活動や学年集会などの時間を活用してもよい。

4. 指導の留意点、工夫点

- ・トップアスリートとして活躍するに至った過程で、「勇気」「強い意志」がどのような意味を持っていたのかを、障害の有無にかかわらず考えさせたい。
- ・パラリンピアンが特別な能力を持った人ではなく、自分たちと同じように、苦手や困難に向き合ったり、地道な努力をしたりしていることを理解させ、そのような姿勢の大切さに気づかせたい。
- ・村岡選手の喜びだけでなく大変だったエピソードも取り上げ、またそれをどう乗り越えたのかを想像することを通してインスピレーションを得ると同時に、自分にひきつけて考えられるようにする。

主体的に対話的な学習を目指すために、Think Pair Share の活動を取り入れています。

T Think…一人で考える。

P Pair…隣の人と意見交換する。

S Share…発表を通してクラスやグループのみんなと考えを共有する。

5. 準備

- ・授業用シート (1-3)
- ・教師用授業ガイド (1-3)
- ・生徒用ワークシート (1-3)
- ・映像資料 DVD：村岡選手ってどんな人だろう
- ・映像資料 DVD：村岡選手からのメッセージ
- ・参考映像資料 DVD：リオ 2016 パラリンピックダイジェスト
- ・参考映像資料 DVD：I'mPOSSIBLE の由来

〈展開案〉※【 】内は経過時間

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
導入 (10分) 【10分]		○ TPS の説明をする。 ※導入でリオダイジェストの映像を見せてもよい。	・参考映像資料 DVD： リオ2016パラリンピックダイジェスト
映像 5分20秒	P 村岡選手の映像を見て、感じたことを発表しよう！ ○パラリンピアン村岡桃佳選手の映像を見て、感想を言う。 ・1本のスキー板なのにすごいスピードが出ていた。かっこいい！ ・斜面を高速で滑り降りるのが怖そうだった。	○村岡選手を知っている生徒がいれば、発表させる。 ○力強いレースの様子や、高度な技術を習得していった様子を見せることで、アスリートとしてのすばらしさを感じさせる。 ○初めて見た印象を確認する。	・授業用シート (1-3) ・教師用ガイド (1-3) ・生徒用ワークシート (1-3) ・映像資料 DVD： 村岡選手ってどんな人だろう
展開① (15分) 【25分]	TS 村岡選手について知ろう ○村岡選手のプロフィールを読み、以下の2点について下線を引き、引いた箇所を発表する。 ■すごいと思ったところ ・高校生でパラリンピックに出場したこと ・パラアスリートとして初の早稲田大学トップアスリート入試に合格したこと ・平昌大会でメダルを5つ獲得したこと ■大変そうだったところ ・チェアスキーが怖いにもかかわらずトレーニングをしてきたこと ・スキーをやめようと悩んだこと ○インスピレーションを受けたことを書いて発表する。 ○発表のあと、村岡選手がどのようにして目標に向かって歩んだのかを確認する。 ○映像(メッセージ)を見る。	○「すごいと思ったところ」と「大変そうだったところ」について、2色で下線を引かせ、数名に発表させる。 ○インスピレーションを受けたこと(心を揺さぶられたことや、刺激を受けたこと)をワークシートに記入させ、数名に発表させる。 〈以下は授業シートに沿って進める〉 ○村岡選手がなすとげたかった目標を確認。 ○目標達成の前に立ちはだかるハードルを確認。 ○どのようにしてハードルを乗り越えたのか、その結果、村岡選手はどのようになったのかを確認。 ※最終的に村岡選手は「勇気」「強い意志」を持って目標に向かって前進していることを理解させる。	・授業用シート (1-3) ・教師用ガイド (1-3) ・生徒用ワークシート (1-3) ・映像資料 DVD： 村岡選手からのメッセージ
目安 作業 5分 発表 5分 解説 5分 (映像30秒)			

時間	学習活動 ○生徒の活動 (引き出したい生徒の声)	指導上の留意点・配慮事項 ○教師の活動 (声かけ例)	準備物／教師参照物
展開③ (15分) 【40分】	<p>T/S 自分にとって「新たな一歩」とは何だろう？</p> <p>○これまでの学習を踏まえて、次の3つについてワークシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分にとって「勇気」「強い意志」を持って成しとげたい「新たな一歩（目標）」 ・自分の目標達成の前に立ちだかるハードル ・ハードルを越えるために、何をしたらよいか 	<p>○映像最後にある「一緒に新たな一歩を踏み出せるように頑張りましょう」というメッセージを振り返り、自分にとっての「新たな一歩」とは何かを考えさせる。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート (1-3) ・教師用ガイド (1-3) ・生徒用ワークシート (1-3)
まとめ (10分) 【50分】	<p>S</p> <p>○ワークシートに記入したことをグループで共有する。</p> <p>〈自分の目標〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学を実現する。 ・部活で都大会に出場する。 <p>〈ハードル〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英語が苦手である。 ・部活のチームでは得点力がどのチームにも劣る <p>〈ハードルをクリアする手立て〉</p> <ul style="list-style-type: none"> ・英会話スクールに行く。 ・シュートを1日200本練習する。 <p>○パラリンピックの価値の意味を確認する。</p>	<p>まとめ</p> <p>○全員に発表の場を持たせるため、グループ内で発表を行う。</p> <p>○村岡選手が特別な人ではなく、どんな人でも勇気と強い意志を持てば一歩踏み出せることを確認する。</p> <p>○本教材の名前が持つメッセージを伝える。不可能 (Impossible) だと思えたことも、ちょっと考えて工夫さえすればできるようになる (I'm possible)。</p> <p>注) 正しい英語表現では「It is possible for me.」。</p> <p>※必要に応じて参考映像資料 (I'mPOSSIBLE の由来) を見せる。</p> <p>○映像資料 (パラリンピックの価値) を見せて、パラリンピックの4つの価値の意味を確認する。</p> <p>※特に「勇気」「強い意志」「インスピレーション」についてはしっかり確認できるようにする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業用シート (1-3) ・教師用ガイド (1-3) ・生徒用ワークシート (1-3) ・参考映像資料 DVD : I'mPOSSIBLE の由来